

college voice

郷育カレッジでは、学校とは違う人たちに会えます。折り紙など、大人の人に教えてあげられることもありますし「これをしなさい」でも「全部やってくれる」でもないところや、自分でやりたいことを見つけて、子どもだけでも参加できるところが良いなと思います。たくさんの授業を受けてきましたが、いつか藍染めに挑戦してみたいです。



郷育カレッジ生
沖息吹さん

豊かな人生は
もっと学びたい
という向上心から

一生の学び 郷育カレッジ

Baton to the future

未来につなぐ幸福のバトン

3



これからも「福津のことをもっと知りたい」を応援します
郷育カレッジは、福津市独自の生涯学習システムで、地域のひと・もの・ことを活かした講座を毎年提供しています。開校以来、ふるさとや生きがいなどの分野で学びを深める機会を提供し、地域で活動する市民自身が講師を務めていることも大きな特徴です。平成15年10月の開校以来、郷育カレッジは福津市における生涯学習の重要な役割を果たし、ともに学び合う循環型生涯学習システムを実現しています。カレッジ生は年々増加し、2025年度で2291人になるまでに成長しました。



郷育カレッジ 学長
成清鉄男さん



郷育カレッジが、23年目を迎えた理由を考えたときに、一つは毎年100人前後増加している新規カレッジ生の「福津のことをもっと知りたい」という好奇心に支えられてきたことが大きいですね。また、地域素材の掘り起こしにおいて実行委員の努力や事務局の支えがあり、そして何より「地域のひと・もの・ことを掘り起こす」その軸がブレなかったこと。これが最も重要な要因であったと考えています。近年では、インターネットを介した取り組みやCS（コミュニティスクール）、防災教育に力を入れていて、つながりを深めています。子どもたちにも人生の先輩の知恵を伝えていく良いきっかけになればと思いますし、大人になっても「リカレント教育」といった学びの振り返りというものがあります。私自身も40代で、もう一度学び直したいという転機がありました。自分の知っていることを新しい観点から学び直すこと、それが後の生き方にも重なっていきます。郷育カレッジは、福津市独自の循環型の生涯学習という表現をしています。「福津市の中で学ぶ」ということが大事なキーワードです。地域のことを地域の人が学び伝えていくことに意義があります。それが、郷育カレッジが地域で育ててもらえる大きな礎になるはず。

日々の郷育カレッジの取り組みはこちらから (Facebook)



- 1 九州大学アクアフィールド科学研究室の学生から教わる「玄界灘の生き物にふれてみよう」
- 2 市内の神社にある絵馬に込められた祖先の思いを感じる「福津の絵馬を見てみよう」
- 3 宗像大社などを見学して古代の足跡を辿る「宗像の歴史めぐり（宗像大社編）」

福津のひと・もの・こと！
もっと知りたい！



PICK UP / 郷育カレッジ 10周年宣言書

郷育カレッジ運営委員会は、開校からの10周年を記念してこれからの10年をさらに発展、深化していくための取り組みについて、平成25年7月に宣言書としてまとめました。